

独立行政法人家畜改良センターの平成28事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、農林水産大臣による平成28年度の総合評価が「B」であったこと等を踏まえ、役員の解任は行わなかった。
----------	---

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、農林水産大臣による平成28年度の総合評価が「B」であったこと等を踏まえ、役員報酬の増減は行わなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	28事業年度評価における主な指摘事項	平成29及び30年度の運営、予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	乳用牛の検定済種雄牛のゲノミック評価の前倒し達成に関し、目標・計画の設定に当たっては、技術の進歩に伴い、前倒しして達成する可能性があることから、その場合の対応(前倒しで目標・計画を達成した場合、目標の範囲で取り組む評価の精度を向上させる等)について、検討しておく必要があるのではないか。(有識者会議意見)	【29年度】 乳用牛について、体型形質の評価モデルの検討を行うなど遺伝的能力評価の改善に取り組み、SNP情報を持つ経産牛のゲノミック評価結果を公表した。 【30年度】 平成29年度から共同研究により着手した黒毛和種及び褐毛和種(熊本系)のゲノミック評価について、道県からSNP情報、枝肉情報の提供を受けて評価を実施し、各道県ごとにその評価結果を提供する。